

未来の先生フォーラム2021 報告書



未来の先生
フォーラム

2021.08.31

未来の先生フォーラム2021 実行委員会

ご挨拶とお礼



この度は、未来の先生フォーラムにお力添えを誠にありがとうございました。

なかなか社会情勢が安定しない中での開催になりましたが、参加者の方々の熱意によって、今年度も素晴らしい会になりましたことを改めて御礼申し上げます。

本年度は2回目のオンライン開催ということで、前回の改善点を踏まえて良い運営ができました。また、過去3回のリアル開催での経験、過去2回のオンライン開催での稀有な経験を基にして、ニュー・ノーマル時代における教育イベントを切り拓いてリードすべく、先駆的な取り組みをより一層行っていきたいと考えています。さらなる挑戦によって、未来の先生フォーラムをさらにより良いものにしていきたいと決意しています。その結果、教育業界の方々へ更なる貢献をして参ります。次年度も、またお力添えのほどを何卒よろしくお願いいたします。

最後に、みなさまの益々のご発展・ご活躍を願っております。

実行委員長
宮田純也

1. 全体

■日程

2021年8月21日(土)・8月22日(日)

■場所

オンライン

■総来場者数(1日1回以上特設サイトにログインした人)

1日目:1342人

2日目:1242人

総来場者数:2584人

■プログラム数

1日目:52

2日目:48

総プログラム数:100

※参加者数

全ての会(記念対談除く)の参加者合計

1日目 2152

2日目 1998

延べ参加者数 4150

21日

1回目 533人

2回目 509人

3回目 586人

4回目 524人

※記念対談 352人

22日

1回目 478人

2回目 538人

3回目 508人

4回目 474人

※記念対談:403人

1. 全体

■協賛

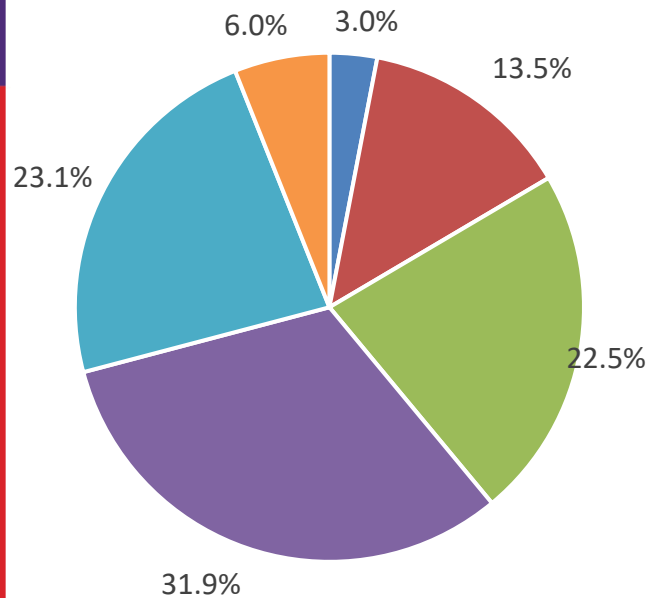
ユームテクノロジージャパン株式会社、株式会社FCEエデュケーション、株式会社ジプロス、株式会社ポプラ社、株式会社電算システム、株式会社Inspire High、株式会社しくみデザイン

■後援

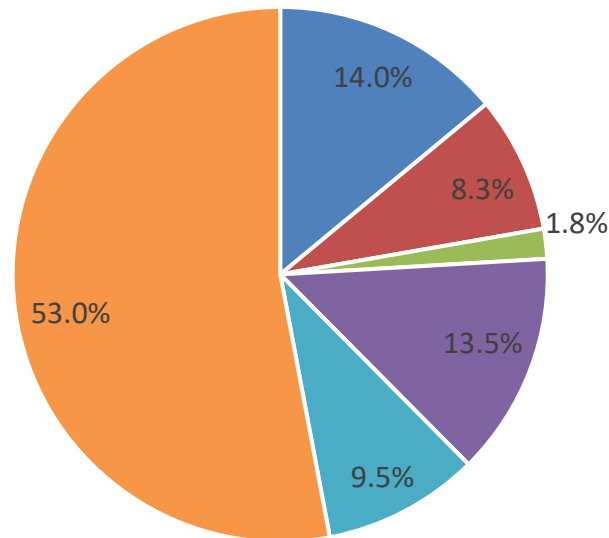
文部科学省、経済産業省、総務省、東京都教育委員会、茨城県教育委員会、千葉県教育委員会、埼玉県教育委員会、広島県教育委員会、愛知県教育委員会、兵庫県教育委員会、静岡県教育委員会、山梨県教育委員会、福島県教育委員会、青森県教育委員会、三重県教育委員会、奈良県教育委員会、岩手県教育委員会、京都府教育委員会、山形県教育委員会、愛媛県教育委員会、宮城県教育委員会、香川県教育委員会、佐賀県教育委員会、山口県教育委員会、秋田県教育委員会、神奈川県教育委員会、島根県教育委員会、岡山県教育委員会、高知県教育委員会、富山県教育委員会、群馬県教育委員会、徳島県教育委員会、宮崎県教育委員会、沖縄県教育委員会、鳥取県教育委員会、長野県教育委員会、滋賀県教育委員会、岐阜県教育委員会、長崎県教育委員会、栃木県教育委員会、和歌山県教育委員会、福井県教育委員会、大分県教育委員会、新潟県教育委員会、福岡県教育委員会、鹿児島県教育委員会

2. 来場者データ (2021年度)

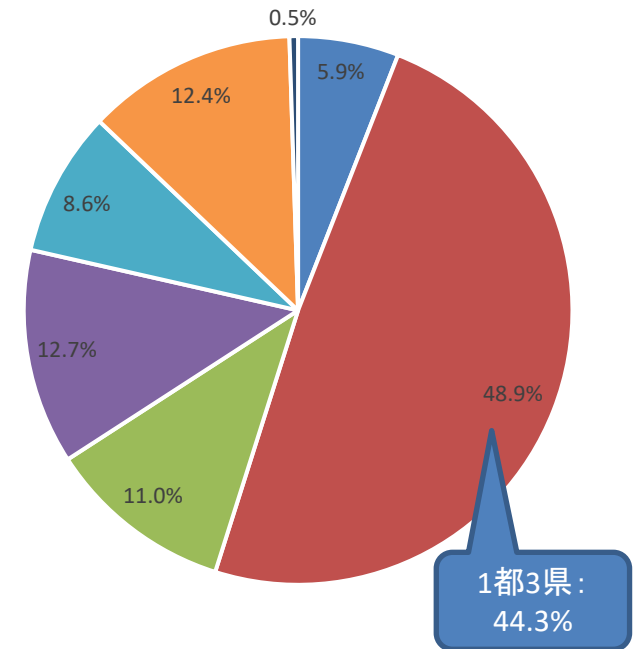
年代ごとの来場者



職種ごとの来場者



地域ごとの来場者



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代以上

■ 小学校

■ 中学校

■ 北海道・東北 ■ 関東

■ 中部

■ 中高一貫校

■ 高校

■ 近畿

■ 中国・四国

■ 九州・沖縄

■ 大学

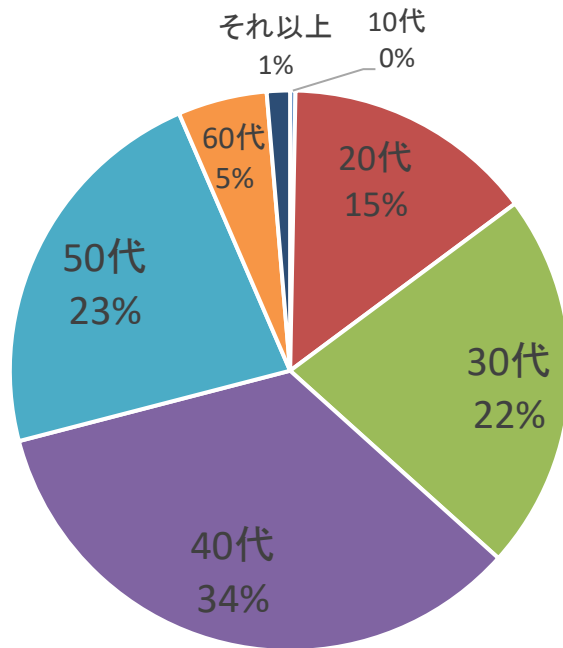
■ その他(一般企業等)

■ 海外

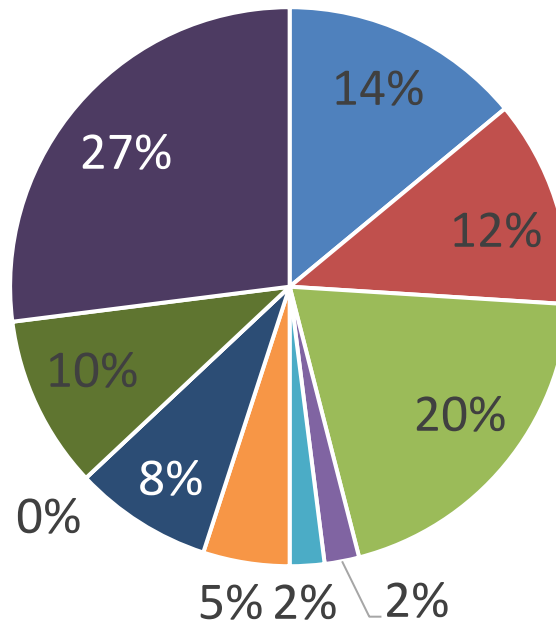
未来の先生フォーラム2021参加者において、今までに未来の先生フォーラム(未来の先生展)へ参加したことがある⇒38.8%、ない⇒61.2%

2.【参考】来場者データ（2020年度）

年代ごとの来場者

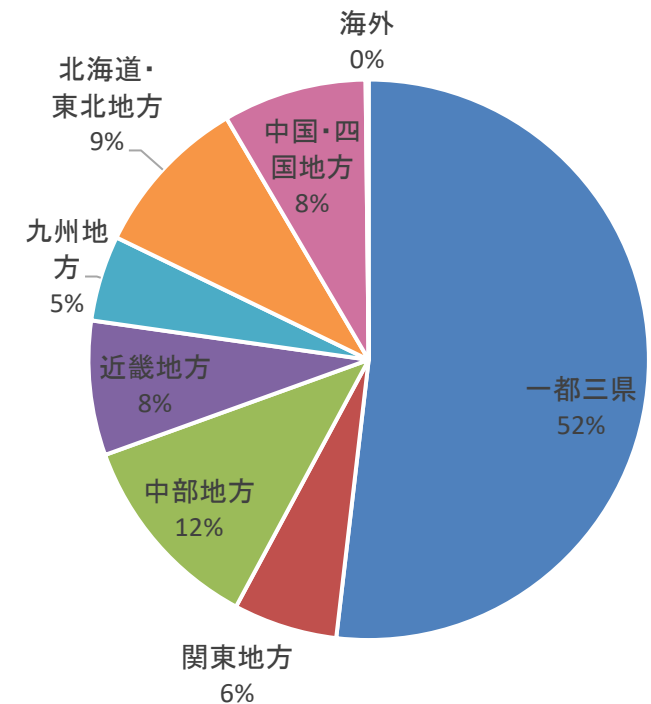


職種ごとの来場者



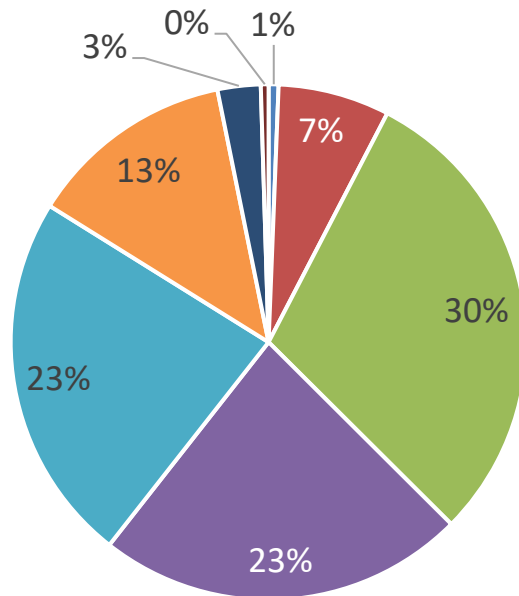
- 小学校教員
- 中学校教員
- 高校教員
- フリースクール・オルタナティブスクール教員
- 特別支援学校教員
- その他教員
- 大学生・大学院生
- 高校生以下
- 保護者
- その他

地域ごとの来場者



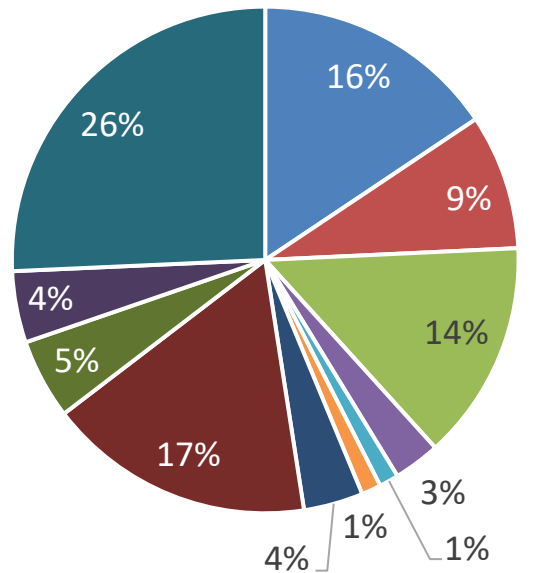
2.【参考】来場者データ（2019年度）

年代ごとの来場者数



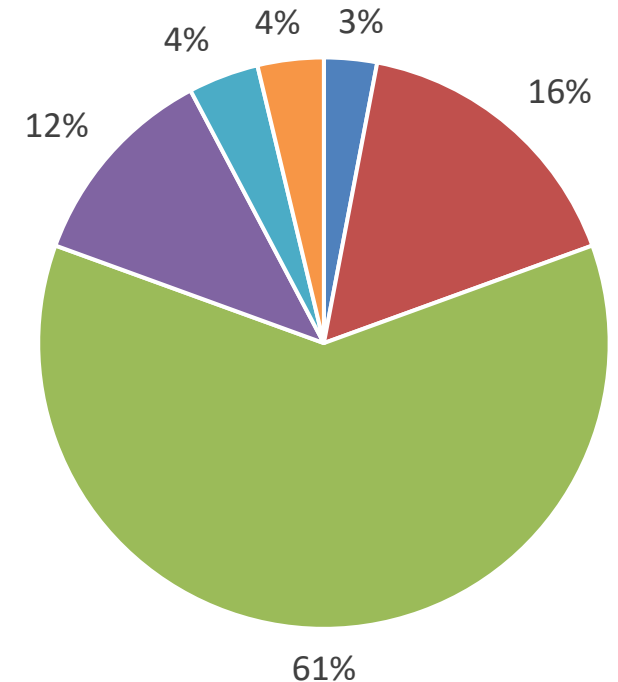
- それ以下
- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- それ以上

職種ごとの来場者数



- 小学校教員
- 中学校教員
- 高校教員
- 大学教員
- フリースクール・オルタナティブスクール教員
- 特別支援学校教員
- その他教員
- 大学生・大学院生
- 高校生以下
- 保護者
- それ以外

地域ごとの来場者数



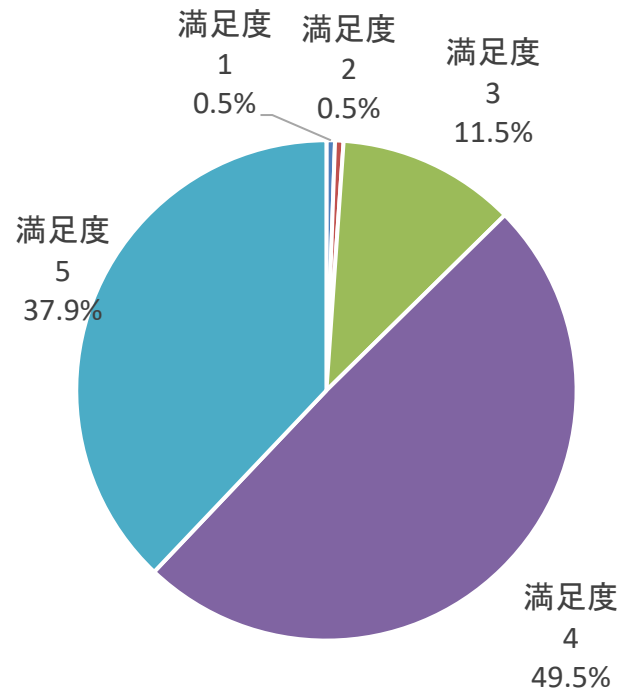
- 北海道・東北
- 中部
- 一都三県
- 近畿
- 中国・四国
- 九州・沖縄

2. 来場者データ

満足度

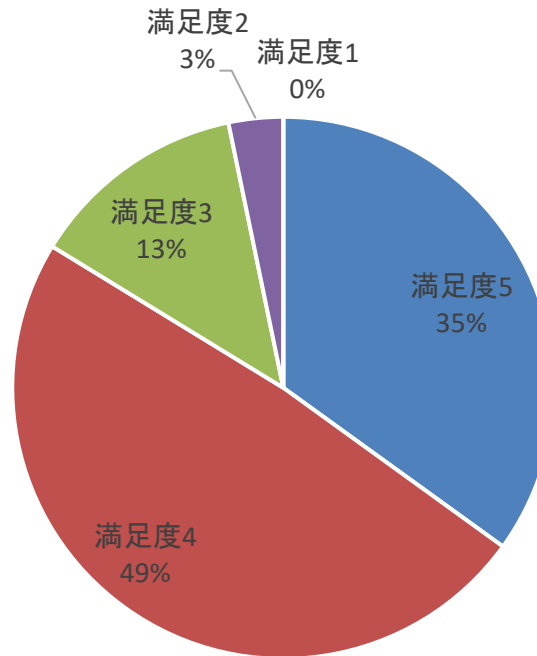
5⇒最高
1⇒最低

2021年度



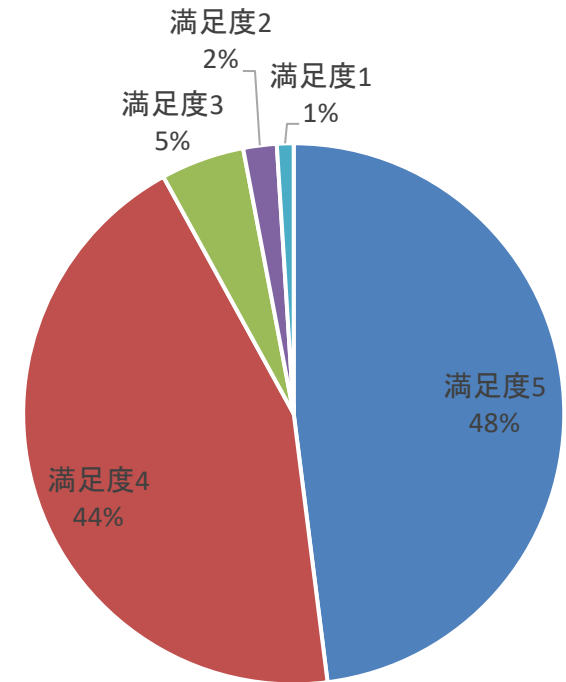
イベント評価平均: 4.21

2020年度



イベント評価平均: 4.15

2019年度



イベント評価平均: 4.36

2018年度:
イベント評価平均: 4.09

3. プログラム

21日タイムテーブル

8月21日(土)	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
第1回 10:00 - 11:00	未来の先生フォーラム2021特別プログラム: 「子どもを主語にする学校づくり」	教育カオスマップから新しい学校を考えてみた ■教育ガラガラポンプロジェクト	T3パズルで対面/オンライン図形授業 ■日本テレレーションデザイン協会	「英語で数学」ってどんな授業? ■ドルトン東京学園中等部高等部	もう不登校で悩まない! おはなしワクチン ■びんずネット	知識を扱う従来型の授業をアクティブラーニング化する ■渡邊 博司 (元スイス公文学園高等部校長)	教師のためのお金の話 ■和歌山県公立学校 網代涼佑	My Hometown Project ■Together Learning	【先生と子供のストレスを軽減するために】データ分析から分かる、メンタルケアに必要な知識 ■株式会社トワール	ニューノーマルのスタートカリキュラムの検討 ■千葉大学教育学部附属小学校	自分一人のできる教師の働き方について考える ■これからの教師の働き方を考える	戸田市が実践する探究的な学びと非認知スキル教育 ■株式会社Inspire High	PBL専門教室「studioあお」の公教育への導入実践 ■株式会社COLEYO
第2回 11:20 - 12:20	未来の先生フォーラム2021特別プログラム 教師は最新学習歴を更新するロールモデルになろう! ■京都芸術大学	新しい教育って本当に役立つの? ■教育ガラガラポンプロジェクト	アナログ教員、プログラミング教育に挑む! ■久留米市立荒木小学校	高等学校における「主体的に学習に取り組む態度」の評価 ■横浜市立みなと総合高等学校 呉桂一	公立中学校と地域が協働で作り上げる、生徒が夢中になるシブヤ科の授業とは? ■代々木中学校シブヤ科実行委員	自己肯定感を高めることで、子どもたちの未来とウェルビーイング社会をデザインする ■特定非営利活動法人日本ビースマイル協会	生徒の心に火を灯す ■株式会社トーチリレー	異分野から教育へ。複業・転職で教育現場と関わる ■探究コネクト	HSCへ極めて敏感な子ども・若者と接してわかったこと ■一般社団法人信州親子塾	現場から始まる本質的な学校運営に向けて ■認定NPO法人 Teach For Japan	やっぱり先生がキーパーソン! ■認定NPO法人 キーパーソン21	【謎解き】明日から使える Google Workspace の実践的活用術をまるごとご紹介! ■株式会社電算システム	〜子ども自ら生きる力を身に着ける〜世界的名著「7つの習慣」を子ども達に ■株式会社FCEエデュケーション
第3回 13:20 - 14:20		高校魅力化 & 「ひろしまの仕事図鑑」 ■広島県立大崎海星高等学校	この端末で何が出来るの? ~電子書籍サブスクリプションサービスの可能性を一緒に考えませんか?~ ■株式会社ボブラ社	「DX人材育成プラットフォーム」をパートナー企業と共創! 時代をリードする創造性重視型教育の社会実験進行中 ■専門学校東京ビジネス外語カレッジ	なぜ今、私たちは東京の私立小学校でヤギを飼うのか ■桐朋学園小学校 (小野崇・有馬佑介)	「子どもの権利条約と不登校支援」不登校児童生徒の学びの権利をどうやって加速できるか ■特定非営利活動法人とちぎ教育ネットワーク	哲学対話/子どもの哲学をやってみよう ■中川雅道 (神戸大学附属中等教育学校)	地域から世界へ! ここが変だよ日本の教育 ■三浦学苑高等学校	不登校の新しい時代 ■NPO法人 登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク	【解説 & 実践】教室で使える! 「きみがつくる社会のトリセツ」ワークショップ ■きみトリプロジェクト	学習する学校対話と協働の基盤を築く「システム思考」 ■システム思考教育家 福谷彰鴻	〜世界25,000以上の教育機関で導入〜英語で学ぶプログラミング「ワンダーコード」 ■株式会社FCEエデュケーション	生徒の自主性、主体性を高める先生の働き方を考える ■株式会社FCEエデュケーション
14:40-15:40	未来の先生フォーラム2021記念対談: 未来の学校 新型コロナウイルスの蔓延によって、私たちの生活様式が大きく変わり、様々な問い直しに直面しています。学校においても、同様です。学校とは何をするところなのか、教師の役割とは何なのか等、様々な根本的な問い直しが起こっています。 そのような中で、「未来の学校」とはどのようなものなのでしょうか。異業種から学校に関わるお二人をお招きし、「未来の学校」について、今までの延長ではない形の学校を考える対談を開催します。												
第4回 16:00 - 17:00	特別対談 ウスビ・サコ氏×日野田直彦氏「Z世代とともに創る新時代の教育」 ■教育新聞社	大人の数的リテラシーの現状とこれから ■和から株式会社	探究学習の評価とルーブリック ■コアネット教育総合研究所	芸術と気象とを連携させた教科等横断型授業の提案 (感覚的視点×科学的視点) ■岡山大学教育学研究科気象学研究室	アナログ教員大歓迎! 教えずに小学校で天才プログラマーを育てる方法 ■株式会社しくみデザイン	「はじまる学び場。」大作戦会議 ■株式会社どこがく	タブレット時代におけるシュタイナー学校の「感覚」教育 ■学校法人シュタイナー学園	若手教員が中心となったボトムアップの学校改革の進め方 ■昭学院中学・高等学校	生命科学的視点によるラーニングの本質とアクティブラーニングへの応用 ■toiee Lab (トイラボ)	小学校共育〜先生と児童が分業する学習ソフトウェア開発〜 ■松山市立湯築小学校	英語×他教科=CLIL 英語で美術や聖書や歴史を対話的に学ぶCLIL授業とは! ? ■横浜女学院中学校高等学校	新しい教育を推進する「学習する学校」とは? ■探究コネクト	これからの授業改善について考えるワークショップ ■株式会社FCEエデュケーション

3. プログラム

22日タイムテーブル

8月22日(日)	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
第1回 10:00-11:00	百科事典ワークショップではなく主観性 ■株式会社ボブラ社	フィンランドと日本の事例から考える「チームとしての学校のあり方」 ■株式会社cokowill	探求学習のつくり方～対話や学びを深める「答えのない問い」をつくるポイントとは？ ■こども国連環境会議推進協会	Compassionate Systems Framework 体験ワークショップ ■Compassionate Systems Framework in Japan	自己肯定感とレジリエンス、人となりが育む「聴く力」とは ■NPO法人リスニングママ・プロジェクト	子ども哲学対話(オンライン)のご紹介。そして、正解のない問いから対話をしてみませんか？ ■一般社団法人子供教育創造機構	THE SCHOOL IN THE CLOUD～自己学習環境 SOLE が切り拓く新しい学び～ ■ミライプラス	先生のゆとりは子どもの幸せに直結！明日からの時間を生み出すワークショップ ■先生の幸せ研究所	旅における学びのデザイン～想像力を育む旅『探究Journey』の方法と実践 ■教養の未来研究所	まもなくロボット教師が現実に！ 私たちが備えること ■カリキュラム株式会社	生徒を泣かせて共感力と自己肯定感を高める涙の授業とは ■涙活	西田二郎と考える「未来の先生」 ■アンボータリズム・エデュケーション	
第2回 11:20-12:20	未来の先生フォーラム2021 特別プログラム「先生が先生になれない世の中で：公教育に迫る危機と未来」	理想の学校を創ろう！ ■HILLOCK初等部	「サステナまち計画」から考える、学びを通じて人づくり・つながりづくり・地域づくり ■名古屋市青少年交流プラザ(ユースクエア)	『腐るお金！ 踊るお金！』 ■こどものお金の学校	起業家になろう！ ■一般社団法人子供教育創造機構	【10歳のじぶんナビ】学校・学習塾向け作文出張授業 ■NPO法人マナビエル	今こそ地方が面白い！ 学校から始まるローカル型地域連携！ ■鳥取城北高校	学びを遊ぶ時代～オルタナティブスクール・フリースクールの実例(団体活動紹介と多様な学びの制度) ■多様な学び保障法を実現する会	ドラマケーション ■NPO法人ドラマケーション普及センター	オンライン型QFT(問いづくり)ワークショップ ■NPO法人ハテナソノ共創ラボ	「消滅可能性都市」から「SDGs未来都市」へ！ 特命大使が伝える豊島区の持続可能なまちづくり！ ■ISIグローバル教育総研	「心をつなぐ」音楽の授業 一時空を超えたコミュニケーションで、他者に寄り添う力を育てる ■Music Explorer Concert Project 事務局	かえつ有明の探究体験！ ■かえつ有明中・高等学校 サイエンス科・プロジェクト科
第3回 13:20-14:20		NewsPicks for Education で考えて表現して動く人になろう!! ■田園調布雙葉学園	学生の個性を伸ばす！ オンラインの強みを活かした新しい学びの形 ■DeruQui	子どもたちのWELL-BEINGってどうやって育むの？ ■いきはく	対話や学びが深まる「オンラインの学びの場」のつくり方講座：基礎編 ■こども国連環境会議推進協会	探究する生き方を育む「マイプロジェクト」ってなんだ？ ■認定特定非営利活動法人カタリバ 全国高校生マイプロジェクト全国事務局	オンラインスクールファシリテーションを学ぼう ■まなびバ！シリウス	公立中学校が市役所や地域企業の協力を得て探究学習を始めていく話 ■米子市立東山中学校	子どもの好奇心や主体性を育むコーチング ■NPO法人トラストコーチング	ニュー・ノーマルのセーフティネット型キャリア教育 ■認定特定非営利活動法人育て上げネット	脱無駄な偏差値教育と受験！ 自分の価値を高める教育と受験へ変える！ ■株式会社ジブロス	学習する学校～新渡戸文化学園の改革と実践～ ■新渡戸文化中学高等学校	
14:40-15:40	未来の先生フォーラム2021 記念対談：ニュー・ノーマルの学校教育 感染予防・防止を念頭に置いた生活などを送るようになって、1年以上も経過しています。コロナ禍におけるかつてとは異なる生活に徐々に順応してきて、かつての生活が遠い昔のことのように感じる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私たちの生活様式が変わると並行して、社会も大きく変わって行っています。コロナ禍における生活・社会に慣れてきた私たちが、かつての生活・社会に戻ることはないでしょう。いわゆる「ニュー・ノーマル(新しい常態)」の生活・社会になることはよく言われています。この変化は教育も例外ではありません。コロナ禍における生活・社会の変化は学校の在り方や指導などの教育活動にもたらしたことでしょう。また、様々な創意工夫によって新たな教育実践も生み出されてきています。では、「ニュー・ノーマル(新しい常態)の教育」とは、どのようなものなのでしょうか？ 教育界におけるキーパーソンをお招きし、「ニュー・ノーマル(新しい常態)の教育」を描き出す対談を開催します。												
第4回 16:00-17:00	学習デザインにイノベーションを起こす学習者体験「Learners Experience」UMU 活用事例 ■ユーメテクノロジージャパン株式会社	オンラインだからできるアクティブラーニングへの挑戦と成果 ■学校法人フオオ未来学園 フオオ高等学校	保護者と教員で作る学校 ■NPO法人京田辺シュタイナー学校	高校生による次世代SDGs教育番組「こどもSDGsニュース」公開収録 ■こどもSDGsニュース	2学期の理科実験がうまくいくコツ ■理科実験の教科書作成委員会	授業の中で切り替えに！ 短時間でできるコガ ■がっこうヨガ推進委員会	子どもの視点からの「きょういく」の多様性について ■世界に目を向けよう～今、私たちにできること～	世界の学校と日本の学校から考える「より良い教育」とは何か？ ■小学校教師を辞めて、世界の学校を回ってきた。	トークセッション “新しい教師像”ってこんな感じ?? ■SOZO.Ed	いまだに聞けないSDGs ■こども国連環境会議推進協会	社会に開かれた教育課程と学校を考える ■未来の先生フォーラム		

4. 広報・露出～メディア～

教育新聞

THE EDUCATION NEWSPAPER

教育新聞において、いくつかのプログラムを取り上げていただきました。

○木村泰子氏が講演「子どもが育つ学校に変えよう」

https://www.kyobun.co.jp/news/20210824_03/

○ニュー・ノーマルの教育で対談 荒瀬氏と平川氏

https://www.kyobun.co.jp/news/20210823_04/

○Z世代と新時代の教育 サコ氏と日野田氏が対談

https://www.kyobun.co.jp/news/20210823_05/

○テレビ演出家×教員「未来の先生」を考える異色チーム

https://www.kyobun.co.jp/news/20210816_06/

○自ら人生を切り開くために「生徒の心に灯をともす教育」を考える

<https://www.kyobun.co.jp/public-relation/pr20210806/>

4. 広報・露出～SNS～

Facebook

- 総投稿数: 220
- 総リーチ数: 318,012
- ホームの「いいね!」: 7817

※2021年4月1日～8月26日までの数値です。

Twitter

- 総投稿数: 197
- ツイートインプレッション: 56,434
- フォロワー: 791

※2021年5月28日～8月26日までの数値です。

ツイートアクティビティ



未来の先生フォーラム2021 @sensei_mirai
 【2日目開催!】未来の先生フォーラム2021
 本日開催される注目の記念対談! 平川理恵先生(広島県教育委員会 教育長)と荒瀬克己先生(独立行政法人 教職員支援機構 理事長)と考える「ニュー・ノーマルの学校教育」。本間正人先生(京都芸術大学 教授ほか)がモデレートする注目のプログラム!
pic.twitter.com/Evuqp3yAzg

インプレッション	2,392
エンゲージメント総数	90
メディアのエンゲージメント数	51
詳細のクリック数	17
プロフィールのクリック数	11
いいね	7
リツイート	2
リンクのクリック数	2

4. 広報・露出

～未来の先生フォーラム2021特設サイト～

未来の先生フォーラム2021特設サイト

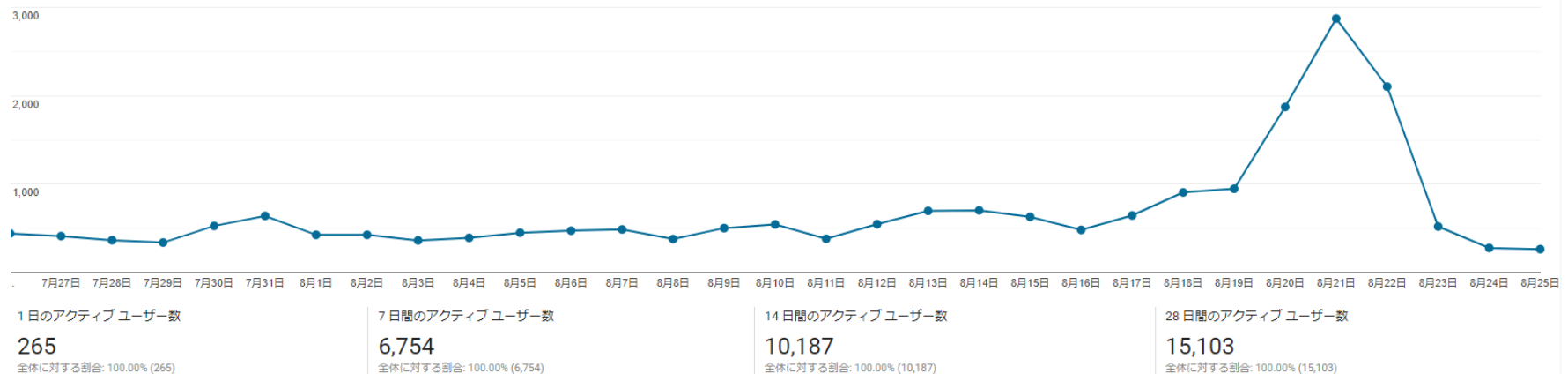
■閲覧(PV)数: 108,446

■1日あたり最高閲覧数: 28,744

■アクティブユーザー数: 15,103

※2021年7月26日～8月25日までの数値です。

※数値はPV数



5. 参加者の声（アンケートより抜粋）

○新しい教育・新しい学校を模索し、実践している方、全国にたくさんいるということを実感できました。パネリストの皆様が、公立学校では難しい斬新な発想、逆に公立でも可能な取り組みのアイディアで、未来の社会（今の子どもたち）の幸せを願い、できることから実際に行動を起こすという、素晴らしい行動力・実践力に感銘を受けました。ありがとうございました。自分自身、公立の小学校の教員ですが、何かできるような気がしてきました。（行動を起こさなければならぬと決意しました）

○ルーブリックの聴講させて頂き、総合学習のルーブリック作成に意欲が湧いてきました。アイデアにつながりそうです。

○30年前の学校を振り返りながら、未来の学校を創造する。変化と多様性の時代ですが、目指す学校像は変わらないと考えます。「不易流行」の考えを基に未来の学校像＝未来の先生像を教育関係者と創造していきたい。

○どれを選んだらよいか悩むくらい素敵な登壇者、分科会がたくさんあり、大充実でした。

○これからの日本の教育は、「明るい」と感じました。前向きで、希望に満ちあふれています。すばらしいアイデアをお互いに共有しようとする姿勢、すばらしいと感じました。

○1時間とセッションの時間設定が適度で、興味があるセッションを短時間で深く学ぶことができた。

○どの公演もとても勉強になりました。特に木村先生と平川先生のお話が深く心に残りました。私は教育学部に通う学生なのですが、教師を目指すことが出来ていることをとても誇りに思い、嬉しくも感じました。そして、私たちの手で変えていきたいと強く思いました！

5. 参加者の声（アンケートより抜粋）

○生徒の心のケアや成長に関心があるので、涙活・ヨガのプログラムが特に勉強になりました。豊島区の取り組みのプログラム、面白かったです。しかし、対話なさる中で、エコ活動をされている若い方が、「プルトニウム」が何であるかをご存じなかった場面があり、衝撃を受けました。社会のあり方について意識の高いこの若者にして、関心が細分化していることを目の当たりにし、物を考える前提になる大卒の知識を伝えるのはやはり教員の役割だと自覚しました。

○初めて参加して本当に多くのことを学ばせていただきました。内容も多様でたくさんの刺激もいただきました。自分がどれだけ狭い視野で教育について考えていたか思い知らされました。また。学習する学校について個人的に学んでいて、それに関する内容もあり、理解が深まりました。コーチングについても興味があったので学ぶきっかけを与えていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました！

○日頃出会わない人たちからの様々な情報に触れて大変刺激を受けました。特に最近の教育事情や先進的な取り組み実践など

○これからの「学校」が、本当にかわらなければならないという意識をもつと同時に、他の教員がどれだけこのことに気づきどう広めていけばいいのかという不安も大きくなった…

○自分が当たり前に過ごしていた日々の中でもう一度見直したいこと、考えたいことがハッキリした。

○いろいろ学びがありました。オンライン開催では、講義型の一方通行の方がよい。ブレイクアウトルームで参加者同士の交流を無理にさせることはないと思った。内容はとても有意義でした。

5. 参加者の声（アンケートより抜粋）

○木村泰子先生の講演を拝見させていただきました。48歳の私が受けてきた教育は、与えられたものをいかに上手くこなすかで評価されてきましたので、社会人になっても自分で考えて行動する事はとても苦手でした。子育てをしていく中で自律する事はいったいどういう事なのか、自分の人生を振り返りながら悪戦苦闘していく中で「学校の未来はここから始まる」を拝読し、木村泰子先生の存在を知りました。なんと素敵な先生がいらっしゃるのかと驚き、実際の先生の声色と表情を拝見したいと思いフォーラムに参加させていただくことにしました。とても楽しい時間となりました。学ばせていただきました。

皆が同じように行動することを今の教育でも求められます。皆と同じ事ができないと、居場所がなくなります。親子共に辛い状況です。色んな所に助けを求めてみましたが、結局は自分達で受け入れてくれる場所を探すしかなく(時間もお金もかかりますし)、大変苦労しました。大空小学校のような小学校が増えてくれることを祈ります。先生の考え方、話し方、表情全てが素敵でした。これからも子育てを頑張ろうと思えました。参加させていただき、ありがとうございました。

○今までは中教審答申や学習指導要領解説を読んで内容を理解し、それを実践することで答えがあると思っていました。しかし、それは間違っていました。正解はないもの、自分で考え自分の言葉で語り、人を動かすしかないと思いました。教員としての働きがいについても考えました。1人1人がやりたいと思えることが実現できる学校となっているか、と。このままでは、多様な人がアイデアを持ち寄りながら働いている私立学校の方へどんどん教員がいつてしまうのではないか。公立学校の使命とは何だろう。そのなかで突破口を開かれている学校の先生方の活躍に驚きました、そしてよく聴いていけば、何か法則があるように感じたのです。何かできそうが気がしてきました。